

# 農林水産商工常任委員会提出資料

(令和6年2月22日)

項 目	ページ
■ 令和6年1月23日からの大雪に係る農林水産関係被害について 【農林水産政策課】……………	2
■ 「とっとりエコ・グリーンフードコーディネーター」委嘱について 【生産振興課】……………	3
■ とっとりウニムースフェア～ウニを食べて海を守ろう！～の開催について 【漁業調整課】……………	4
■ 第19回さかいみなと漁港・市場活性化協議会の開催結果について 【境港水産事務所】……………	5
■ 鳥取県産品の情報発信に係る取組について 【販路拡大・輸出促進課】……………	6
■ 鳥取県ブランド保護・向上のための取組について 【販路拡大・輸出促進課】……………	8
■ 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について 【農地・水保全課、県産材・林産振興課、水産振興課】……………	9

農 林 水 産 部

# 令和6年1月23日からの大雪に係る農林水産関係被害について

令和6年2月22日

農林水産政策課

令和6年1月23日からの大雪に係る農林水産関係の被害について報告します。

## 1 農林水産業被害の概況 <2月14日時点（最終）>

### (1) 農業・林業関係

大区分	中区分	小区分	被害箇所等	被害額	市町村	主な被害内容
農業	農作物	白ねぎ	6.7ha	53,769千円	鳥取市、八頭町、倉吉市、北栄町、琴浦町、米子市、境港市、日吉津村、南部町、伯耆町、大山町、日南町	積雪による葉折れ
		ブロッコリー	0.8ha	2,184千円	倉吉市、琴浦町	花蕾の痛み等
		小計	7.5ha	55,953千円		
	農業施設	パイプハウス	19棟	52,099千円	倉吉市、北栄町、米子市、日吉津村、伯耆町、大山町	積雪による倒壊、一部損壊
		共同利用施設	1棟	1,000千円	北栄町	らっきょう共乾施設の荷受けテント損壊
		畜舎	4棟	1,410千円	琴浦町、大山町	牛舎の全壊及び一部損壊、豚舎の屋根損壊等
		農機具倉庫	1棟	6,032千円	大山町	積雪による屋根落下
		小計	25棟	60,541千円		
	林業	緑化樹苗木	3,000本	450千円	大山町	ハウス倒壊に伴う折れ等
		パイプハウス	2棟	5,400千円	大山町	積雪による倒壊、一部損壊
小計		—	5,850千円			
合計			—	122,344千円		

### (2) 水産業関係 被害情報なし

## 2 今後の対応

○生産者が継続的に生産活動ができるよう、災害復興調整費（5千万円）により、パイプハウスや牛舎等の復旧及び雪害を受けた農産物の販売促進の支援を行う。

（白ねぎについて、各JAでは出荷規格を緩和した「雪害規格」による出荷を実施している。）



<パイプハウス倒壊被害（大山町羽田井）>



<積雪による白ねぎの葉折れ（琴浦町槻下）>

## 「とっとりエコ・グリーンフードコーディネーター」委嘱について

令和6年2月22日  
生産振興課

有機・特別栽培等の環境負荷低減によって生産された農産物の販売推進を目的として、一般社団法人山陰三ツ星マーケット代表の渡世唱子（とせしょうこ）氏に対し「とっとりエコ・グリーンフードコーディネーター」を委嘱しましたので、報告します。

### 1. とっとりエコ・グリーンフードコーディネーターの活動

「鳥取県みどりの食料システム戦略基本計画」に基づく環境負荷低減への取組の呼称である「とっとりエコ・グリーン農業」により栽培した農産物等の販路開拓・拡大に向けた、生産者と消費者の間の橋渡し役としての活動をお願いする。

[主な活動予定]

- ・有機・特栽農産物等の認知度向上、販路拡大を図るため、県内で有機・特栽農産物等に取組む生産者を紹介するWEBサイトの作成（令和5年度中）
- ・有機・特栽イベントやフェアの開催（令和6年度）
- ・有機・特栽農産物等に取組む生産者の交流会・勉強会の企画（令和6年度）

### 2. 委嘱者の概要

- (1) 委嘱者：一般社団法人山陰三ツ星マーケット代表 渡世唱子氏（鳥取市）
- (2) 平成29年に有志で山陰三ツ星マーケットを立ち上げ、地域の「食」をテーマにしたマルシェを精力的に開催している。
- (3) 県内外の販売事業者と広くつながりを持ち、令和2年度からは大阪中之島でFEEL GOOD TOTTORIを毎月開催するなど、農家と一緒に県産品の販売促進に取り組んでいる。

※山陰三ツ星マーケットについて

- ・県内外でイベントの出店・運営を行い、今年で6年目となる。現在の登録団体数は550以上、イベントでの集客平均数は2,200人を超える規模
- ・令和2年4月に丸由百貨店5階にてプレイヤーズマーケットを運営。山陰地方で活動する事業者等に出店スペースを毎月提供
- ・令和5年10月に法人化

### 3. 委嘱式の概要

- (1) 日時：令和6年2月5日（月）午後1時～1時15分
- (2) 場所：鳥取県庁本庁舎3階 第2応接室
- (3) 出席者：一般社団法人山陰三ツ星マーケット

代表 渡世 唱子 氏

#### (4) コーディネーターからのコメント

- ・鳥取の農産物を県外に運んだことが活動のきっかけとなった。
- ・元々県東部の農家を中心に親交があったが、コーディネーターを受けるにあたって中・西部の農家との交流も増え、県内には、まだまだたくさんの思いや、こだわりをもった方がいると感じた。
- ・県内のこだわった農産物は、県外では飛ぶように売れる一方で、県内には浸透していないので、まずは県内を中心に情報を発信していきたい。



[委嘱状授与]

### 4. 今後の予定

- (1) とっとりエコ・グリーンフードコーディネーターの活動を支援しながら、有機・特栽農産物の認知度向上と販路拡大に取り組む。
- (2) 有機・特別栽培面積2,000haを目指して、栽培面での支援や人材育成に取り組む。

# とっとりウニムースフェア～ウニを食べて海を守ろう！～の開催について

令和6年2月22日  
漁業調整課

漁業者が県内野菜で育てたムラサキウニを使用したムース状のオリジナルメニューを数量限定で提供する「とっとりウニムースフェア」の開催について報告します。

## 1 「とっとりウニムース」とは

J A鳥取中央倉吉秋冬野菜部会及び全農とっとりから提供されたキャベツ、ブロッコリーで蓄養した「ムラサキウニ」を用い、参加する各店舗が工夫を凝らして開発したムース状のオリジナルメニュー

### 「とっとりウニムース」メニューの5カ条

- ① メニュー名は「鳥取ウニと□□の○○（※）」とするけえ  
※ □□にコラボさせる鳥取の海の恵みの名称、○○に料理名を入れる。
- ② ここいらの藻場をめいどるムラサキウニを大切に育てて使うけえ
- ③ ウニムース×鳥取の豊かな海の恵みを使って美味しくするけえ
- ④ 丸形の料理で、ウニを転生させるけえ。ウニも喜ぶでえ
- ⑤ おいしく食べて藻場再生！食べた人が笑顔になるメニューにするけえ

## 2 「とっとりウニムースフェア」の概要

- (1) 期 間 令和6年2月19日（月）から2月25日（日）まで
- (2) 参加店舗 蓄養ウニのメニュー開発に尽力いただいたぎんりんグループの5店舗及び趣旨に賛同いただいた鳥取市内の店舗 合計19店舗
- (3) 趣 旨 鳥取の海の恵みとコラボさせたウニムースメニューの提供とあわせて、ムラサキウニによる海藻の食害など、本県の海の課題についてメッセージを発信し、県民の海への関心を高める。
- (4) 実施主体 鳥取ブルーカーボンプロジェクト「豊かな海の再生を目指して」実行委員会（鳥取県漁協、県、農林中央金庫等）  
共催：日本財団「海と日本プロジェクト」  
※ 日本財団「海と日本プロジェクト」の助成事業を活用

## 3 鳥取ブルーカーボンプロジェクト「豊かな海の再生を目指して」の今年度の主な取組

地域とともに鳥取の豊かな海を取り戻すことを目的に、藻場の衰退の要因となっているムラサキウニを切り口にした以下のイベントや環境学習を実施した。

期 日	取 組
6月20日	鳥取県立青谷高校（3年生）青谷学Ⅱでウニ駆除実証実験を開始
6月21日	鳥取県立青谷高校（2年生）青谷学Ⅰでの環境学習
7月17日 （海の日）	「とっとり海のごちそう祭2023」開催（鳥取賀露港）
9月13日	鳥取県立青谷高校青谷学Ⅰで長和瀬漁港を視察
9月20日	鳥取県立青谷高校青谷学Ⅰでウニとサザエを用いた調理実習
11月13日	湯梨浜町立泊小学校で環境学習（5年生）
11月20日	湯梨浜町立泊小学校5年生のウニ蓄養現場の校外学習
1月31日	鳥取市立美保小学校で環境学習と「藻場の恵みご飯（※）」の試食（6年生） ※蓄養したウニに藻場の恵みであるサザエ、ワカメを加えた炊き込みご飯
2月2日	鳥取県水産研究・実践活動報告会で青谷高校生がウニ駆除実証実験結果を報告
2月8日	湯梨浜町立泊小学校でウニ給食「藻場の恵みご飯」の提供及び11月に行った環境学習とウニ蓄養現場の校外学習に関する発表（5年生が学習内容やウニと海について自分たちで調べた内容、考えたことを発表）

## 第19回さかいみなと漁港・市場活性化協議会の開催結果について

令和6年2月22日  
境港水産事務所

第19回さかいみなと漁港・市場活性化協議会（以下「活性化協議会」という。）が開催され、マイワシ資源の回復に伴う陸の処理能力の問題、津波を想定した避難訓練等について協議されましたので、その概要を報告します。

### 1 開催概要

- (1) 日時 令和6年1月17日（水）午前10時30分から正午
- (2) 場所 境港水産物地方卸売市場2階大研修室

### 2 主な協議事項

#### (1) マイワシ資源の回復に伴う陸の処理能力の問題について

(結果の概要)

- ・国のマイワシ資源評価結果によると、資源は回復に向かい、今後、漁獲量の増加が見込まれている。
- ・漁港整備により陸揚げ能力は高まっているが、マイワシ資源を有効に活用するためには仲買等による陸の処理能力について現状を把握する必要がある。
- ・このため、仲買及び加工業者等に冷凍冷蔵施設更新に関する情報収集を行い、次回活性化協議会に報告することとなった。

(対応)

- ・現在、冷凍冷蔵施設を所有する事業者に対してアンケート調査を実施中。3月に事業者を対象にした意見交換会の開催を予定している。

#### (2) 津波を想定した避難訓練について

(結果の概要)

- ・市場関係者の防災意識を高めるため、活性化協議会の専門部会である災害ワーキンググループ（WG）の会議及び津波を想定した避難訓練を3月に行うことが承認された。
- ・委員からは境漁港・市場は非常に堅牢であること、能登半島地震の状況などを鑑み、被災後に避難者が数日間滞在できるような備蓄食料、非常時の通信手段等を整備するよう意見があった。

(対応)

- ・境港水産事務所では今後、備蓄食料、通信手段、非常電源等を整備するとともに、境漁港・市場を境港市の指定緊急避難所として災害発生時に活用できるよう境港市と連携を図る。
- ・なお、避難訓練では、鳥取沖を震源とする震度5強の地震が発生した場合、境港に43分で最大津波高2.4mの津波が到達することが想定されていることから、この想定で避難訓練の実施を予定している。

### 3 その他協議事項

- ・休憩岸壁の状況と係船ルールについて
- ・境港水産加工汚水処理施設の改修について

<参考>災害に強い漁港・市場の整備

- ・M6.5の直下型地震動が発生しても岸壁の損傷や液状化等の被害が限定的で速やかに漁業活動が再開できるように、岸壁に地下16mまで鋼管矢板を打ち込み、市場躯体を支えるため地下22mまで地盤を改良。上屋の杭は地下66mまで打ち込んでいる。
- ・最大津波高より高い屋上に250台分の駐車スペースと受電設備を整備し、屋上駐車場及び2階を緊急避難場所として利用可能。



# 鳥取県産品の情報発信に係る取組について

令和6年2月22日  
販路拡大・輸出促進課

鳥取県産品の知名度向上、ブランド化の推進に向けた国内外での積極的な情報発信（令和5年10月以降）の実施状況を報告します。

## 1 国内での情報発信

### (1) 百貨店・量販店等でのPR

鳥取県物産展をはじめ、ホテルの飲食店フェアや料理業界向けPR等を実施している。

#### ◆首都圏等での主なフェア開催状況（主催：県）

区域	店舗	時期	内容
首都圏	第20回ボキューズ・ドール国際料理コンクール 代表選考2023 決勝大会	11/11	県産食材を提供した代表選考会でのPR
	東急ストア旗艦店4店舗	1/12～13	㈱日本産直空輸と連携した鳥取県フェア
	ライオン本社ビル食堂「Orion」	1/26	食パラダイス鳥取県フェア
	パークシティ武蔵小杉ミッドスカイトワー	1/27	鳥取県物産展
	浅草すしや通り商店街	3/2～3	浅草すしや通り商店街 大感謝祭
関西圏	万博記念公園	11/3～4	大阪・関西万博500日前イベント
	中之島フェスティバルタワー	11/9	中之島フェスティバルタワー社食イベント
名古屋	ジェイアール名古屋タカシマヤ	11/11～12	ズワイガニ、野菜、王秋梨の販売
広島	ヒルトン広島 日本料理「泉水」	11/9～10	松葉がに・地酒PR
		1/19～2/29	食パラダイス鳥取県の冬の味覚フェア

### (2) 和牛のふるさと山陰における鳥取和牛のPR

#### ○和牛のふるさと山陰フェア

- ・期間：9月27日前夜祭（グランドプリンスホテル新高輪 天平）  
9月28日共励会（東京都中央卸売市場食肉市場）
- ・内容：「和牛のふるさと山陰フェア」として鳥取県と島根県が連携し、東京都中央卸売市場食肉市場で枝肉共励会（9/28）並びに宿泊施設や飲食店でのキャンペーン（9/29～12/31）を共同開催した。（9/27は市場関係者等が参集し前夜祭を開催）

#### ○和牛のふるさと山陰を味わう 美食の饗宴

##### 【メディア向けイベント】

- ・期間：1月13日
- ・場所：メゾン ポール・ボキューズ
- ・内容：鳥取和牛の魅力と島根県と連携し、「和牛のふるさと山陰」としてPRするためメディア向け試食会を行った。

##### 【Weekly フェア・（一般向けイベント）】

- ・期間：1月23日～31日
- ・場所：メゾン ポール・ボキューズ（鳥取県）ブラッスリー ポール・ボキューズ（島根県）
- ・内容：鳥取和牛を使ったメニューを、ランチ及びディナーメニューで提供した。（1/10入砂シェフ等食材産地視察）



### (3) 大都市圏料理業界へのPR

大都市圏のシェフ等が参加する県内産地視察や県産食材勉強会等を通じて、県産食材のPRを実施した。

- （一社）日本イタリア料理協会会員（シェフ等）県内産地視察（10/30～31、11/11）
  - ・「レストランテ浜崎」浜崎シェフ等7名を招へい（ジビエ、野菜、魚介等を視察）
- シェ・イノ県産食材勉強会
  - ・産地視察（11/12～13）及び食材勉強会（11/22、2/7）、延べ12名参加

### (4) 商談会等

- ・2/14～16 スーパーマーケット・トレードショー 出展13社
- ・2/20～21 アンテナショップ及び首都圏・関西圏商品クリニック兼商談会 31社参加
- ・3/5～8 FOOD EX JAPAN 2023 出展15社

### (5) 雑誌掲載

○Nile's NILE等へ米、ジビエ、わさび、きのこ等を掲載した。

### (6) オンラインでのPR

- YouTube「ぼる塾チャンネル」での発信（12/8～3/21）
  - ・知事出演による鳥取和牛、松葉がに、星空舞等県産食材PR
- 旬をおとどけ！鳥取WEBマルシェ（鳥取県物産協会運営、令和6年3月まで）
  - ・カニ・特産品コンクール・和牛等の畜水産物の販売や県産品を使用した加工食品を通年で販売した。



## 2 国外（アジア地域）での情報発信

### (1) 台湾でのプロモーション

#### ○輝太郎柿フェア

【百貨店での試食販売】

- ・期間：10月19日～22日
- ・場所：SOGO 忠孝店、微風広場（復興店、南山店）

【現地 CAFE でのメニューフェア開催】

- ・期間：10月24日～11月8日
- ・場所：WIRED CHAYA 南港店（台北市）、同 高雄大立店（高雄市）、WIRED TOKYO 台中市政店（台中市）
- ・内容：輝太郎柿を使用したフレンチトースト、ワッフル、ラッシーを企画し、提供した。



#### ○裕毛屋「鳥取物産展」

- ・期間：10月27日～29日
- ・場所：裕毛屋公益店（台中市）
- ・内容：輝太郎柿、星空舞など含む生鮮、加工食品など13事業者37品を販売した。

#### ○鳥取和牛フェア in 俺達の肉屋

- ・期間：2024年2月10日～25日 ※約2週間
- ・場所：俺達の肉屋（台中市）
- ・内容：鳥取和牛5～8部位盛り合わせ提供、県産酒（千代むすび酒造、中川酒造、諏訪酒造、梅津酒造）のメニュー提供等を実施した。なお、同店は今回の連携を機に「鳥取和牛指定店」に登録している。



### (2) タイでのプロモーション

#### ○輝太郎柿プロモーションの実施

- ・期間：10月18日～31日
- ・場所：2店舗2ブース（SIAM TAKASHIMAYA 果物売場、SIAM Paragon Gourmet Market 内輸入果物売場）
- ・内容：輝太郎柿販売ブースの設置、鳥取県観光案内ブース設置パンフレット配布、インフルエンサーによる情報発信等を実施。 ※別途、12月にも富有柿も販売いただいた。

#### ○鳥取メニューフェア

- ・場所：Lord Jim's, Kinu by Takagi（マンダリン・オリエンタル・バンコク内）
- ・内容：

- 1) 鳥取和牛プロモーションイベント「鳥取ナイト」（2月10日）  
オープニングイベントとして、ドミニク料理長、高木シェフらによる鳥取和牛料理説明、鳥取和牛生産者とのオンライン中継、県産酒等（太田酒造、稲田本店、千代むすび酒造、松井酒造、広岡農場）提供等を実施した。

- 2) 鳥取和牛メニューフェア（2月11日～19日） ※定休日を除く7日間



### (3) シンガポールでのプロモーション（カニフェアの開催）

- ・期間：11月14日～12月31日
- ・場所：高級日本料理店「Takayama」本店
- ・内容：カニを中心とした鳥取県フェアを開催（松葉ガニ、親ガニ、琴浦グランサーモン、ねばりっこ、梨などを使用）。あわせてカニ料理とのペアリングを意識した鳥取県産酒（諏訪酒造、千代むすび酒造、梅津酒造）を提供し、鳥取県の魅力発信と、県産酒の知名度向上、販路拡大を行った。



### (4) 中国でのプロモーション（上海ジャパンプランド出展）

- ・期間：1月13日～14日
- ・場所：LaLaport 上海金橋 1Fおよび2F イベントスペース（上海市）
- ・内容：国際観光・万博課と連携し、観光PRブースとあわせて県産酒ブースを出展し、現地販社による県産酒（梅津酒造、大谷酒造、高田酒造）の販売および県産酒のプレゼンテーション等を実施した。

## 鳥取県ブランド保護・向上のための取組について

令和6年2月22日  
政策法務課  
広報課  
販路拡大・輸出促進課

県章類似マークを利用し食品販売を行っていた香港企業への対応が完了したことを受け、下記のとおり副知事をトップに関係部局で構成する対策組織の第2回会議を開催しましたので報告します。

### 記

1 期 日 2月1日(木)

2 場 所 第4応接室

### 3 議事概要

香港企業への対応結果及び県が製作した文字・図形について全庁点検の結果を報告した。

#### (1) 香港企業への対応結果

##### ア 事案の概要

- ・香港の食品見本市(令和5年8月)において、県とは無関係の香港企業が県章類似マークを使用した商品の出展を行っていた。
- ・当該企業のホームページにおいて、県とは無関係の食品にマークを表示した販売を行っていた。

##### イ 対応結果

- ・香港企業から、県章類似マークを使用しないことを誓約する文書が1月23日に香港の法律事務所に提出された。(誓約文書の原本は1月31日に県庁に到着。)
- ・香港企業のホームページ、SNS上の全ての県章類似マークが削除されていることを1月24日に確認した。

#### (2) 県が製作した文字・図形について全庁点検結果

##### ア 点検概要

県が製作した文字・図形を洗い出し、次の観点で点検を行った。

- ・特定分野で他者に使用されることでの誤認により鳥取県ブランドが低下しないか
- ・特定分野で他者が商標登録し鳥取県が使用できなくなっても致命的な問題はないか

##### イ 結果

保護が必要なものは商標登録又は品種登録を対応済みであった。

- ・海外…星空舞(香港・台湾・中国)、新甘泉(香港)で商標登録済である。  
とっておき(韓国・中国)で品種登録済である。
- ・国内…商標登録114件(うち4件は手続中)、品種登録5件で対応済である。



## 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

令和6年2月22日  
農地・水保全課  
県産材・林産振興課  
水産振興課

【変更分】

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	変更理由
農地・水保全課 (東部農林事務所)	古海第2地区揚水ポンプ 設備更新工事(ゼロ国債)	鳥取市 古海	山陰クボタ水道用材株式会社 代表取締役社長 杉谷 雅祥	(当初契約額) 121,660,000円	令和5年3月8日 ～ 令和6年2月15日	(当初契約年月日) 令和5年3月8日	
				(第1回変更後契約額) 121,742,500円 〔 変更額 82,500円 〕		(第1回変更契約年月日) 令和6年1月22日	受注者請求に基づき、労務単価を令和5年3月の新単価に変更したことによる増額。
県産材・林産振興課 (東部農林事務所 八頭事務所)	林道因美線(河津原工 区)開設工事	智頭町 西宇塚外	株式会社竹内組 代表取締役 竹内 秀彦	(当初契約額) 81,950,000円	令和5年3月31日 ～ 令和5年12月5日	(当初契約年月日) 令和5年3月31日	
					(変更後工期) 令和5年3月31日 ～ 令和6年1月31日	(第1回変更契約年月日) 令和5年12月5日	台風第7号により手戻りが生じたことに伴う工期延伸。
				(第2回変更後契約額) 106,283,100円 〔 変更額 24,333,100円 〕		(第2回変更契約年月日) 令和6年1月31日	・労務単価の特例措置の適用による工事費の増額。 ・大雨及び冬の融雪による土壌侵食を防止するため、 法面保護工を追加したことに伴う工事費の増額。
水産振興課 (栽培漁業センター)	栽培漁業センター高圧受 変電設備改修工事	東伯郡 湯梨浜町 石脇	栽培漁業センター高圧受変電設備 更新工事エナテクス・吉備総合電設 特定建設工事共同企業体 代表者 株式会社エナテクス 代表取締役 福井 利明 構成員 株式会社吉備総合電設 代表取締役 山下 誉議	(当初契約額) 204,600,000円	令和5年1月17日 ～ 令和6年2月15日	令和5年1月16日	
				(第1回変更後契約額) 216,209,400円 〔 変更額 11,609,400円 〕		(第1回変更契約年月日) 令和6年1月23日	高圧引込設備(引込高圧ケーブル、PAS等)の更新及び第2電気室のコンデンサ4台の撤去処分(PCB含有検査も含む。)を追加したことに伴う増額。